

平成30年度 新潟県小学校長会研究集会 長岡・三島大会の記録

1 大会主題

未来を生き抜く知を磨き 絆を強め 学び続ける子どもを育てる学校経営
～新学習指導要領への対応を中心に～

2 基本方針

- (1) 外国語活動、外国語科の実施に向けた各自の実践を持ち寄り、討議し合う。その際、校長として「学校経営」の視点を明確にした内容となるようにする。
- (2) 分科会は、必要に応じて分散会を設け、少人数での協議ができるようにする。
- (3) 分科会では、参加者の発表を受けて、話し合いの柱を決定し、情報交換や協議を進めるなど、運営を工夫する。

3 分科会の構成

第1分科会	学校における外国語活動、外国語科の指導体制の充実 (組織マネジメントの視点で)
第2分科会	外国語活動、外国語科の指導計画の改善 (カリキュラム・マネジメントの視点で)
第3分科会	外国語活動、外国語科の指導方法・評価等 (授業づくりの視点で)

4 講演会

- (1) 演題「新学習指導要領と全面実施に向けた校長の取組への期待」
- (2) 講師 文部科学省初等中等教育局教育課程課 主任学校教育官
降旗 友宏 様
(文部科学省初等中等教育局財務課長 合田哲雄様の代理として)

全県研究集会の趣旨と概要

「未来を生き抜く知を磨き 絆を強め

学び続ける子どもを育てる学校経営

～新学習指導要領への対応を中心に～」

研修部長 吉田 光夫

一 大会主題の趣旨

今日、少子・高齢化や人間関係の希薄化などが進む中、人と人との絆づくりに取り組み、地域に根ざした未来を創ることのできる子どもの育成が求められている。また、学校が抱える課題は益々多様化・複雑化し、学校経営の舵取りが難しい時代を迎えている。

このような中で、校長は鋭い先見性と豊かな創造性を持ち、学校の実態に即した適切な教育課程の編成・実施・評価・改善を推進していくことが不可欠であり、実践を通してその成果を具体的な子どもたちの姿で示すことで、地域や保護者の信頼を得るようにしなければならない。とりわけ、今後は、二〇二〇年度の新学習指導要領の全面实施に向けての先行実施期間となることから、いずれの学校においても「社会に開かれた教育課程」を適切に編成することが最重要課題となる。よって、校長会研究集会では、「新学習指導要領に即応した研修」に校長自らが取り組み、全ての

学校において万全の準備ができるように、具体的に協議し合うことを目指す。こうした考えのもと、今年度は移行期として取組が始まった「外国語活動・外国語科」について、校長各自が実践を持ち寄り、協議し、計画的に実践を重ねていくことをねらいとして開催する。

二 大会の概要

(一) 基本方針

ア 外国語活動、外国語科の実施に向けた各自の実践を持ち寄り、討議し合う。その際、校長として「学校経営」の視点を明確にした内容となるようにする。
イ 分科会は、必要に応じて分散会を設け、少人数での協議ができるようにする。

ウ 分科会では、参加者の発表を受けて、話合いの柱を決定し、情報交換や協議を進めるなど、運営を工夫する。

(二) 期日・会場

十月十六日（火）

全体会 長岡リリックホール

分科会・分散会 ハイブ長岡

(三) 講演

講師 文部科学省初等中等教育局教育課程課

演題 新任学校教育官 降旗友宏 様

「新学習指導要領と全面实施に向けた校長の

取組への期待」